

行政評価シート(事後評価)

コード 2-1-6	事務事業名 公共施設駐車場管理運営事業(保谷庁舎)	所管部課 総務部 管財課
--------------	------------------------------	-----------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	市民の庁舎利用の利便性を高めるため、保谷庁舎駐車場について適切に管理運営を行う。		<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助金・市単独補助金額)等			
	保谷庁舎駐車場2箇所(無料)の管理運営(平成20年度より一日6時間、週5日間、警備員による誘導交通整理等)を行う。土・日等も運営している。			
事業開始時期	合併前から	年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			0	0	0
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他 ( )					
	一般財源		0	0	0	4,662
所要人員(B)	人		0.01	0.01	0.01	0.01
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		82	82	82	82
臨時職員等賃金(C')	千円				0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		82	82	82	4,744
単位当たりコスト (E)=(D)/(年間日数(365日))	千円		0	0	0	13

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	開庁日の運営費	実績値	千円		0	0	0
(指標の説明・数値変化の理由 など) 一日当たりの維持管理経費							
一次	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一日当たりの使用台数	目標値	台		360	360	360
		実績値	台		295	300	
二次	満足度率	目標値	%				
		実績値	%				
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)一日当たりの利用台数(台数は平成18年度調べ) (二次)庁舎利用における満足度							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市長への意見、電話等で駐車場混雑の苦情が多数寄せられている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	すべての公共施設駐車場を有料化している 26市中…該当なし 一部の公共施設駐車場を有料化している 26市中…17市 すべての公共施設駐車場を無料化している 26市中…9市 (平成18年度調べ)
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 2-1-6	事務事業名 公共施設駐車場管理運営事業(保谷庁舎)	所管部課 総務部 管財課
--------------	------------------------------	-----------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>庁舎、スポーツセンター、文化施設等複数の公共施設の利用者が来るため、慢性的に駐車場が不足する状況にある。そのため、平成20年度から行う保谷庁舎敷地整備事業の中で利用可能台数を確保するとともに、駐車場の有料化、民間駐車場の利用、交通機関の利用等について検討する必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>保谷庁舎の駐車場管理については、平成20年度より警備員による誘導交通整理等を行っている。          庁舎周辺には、文化・スポーツ施設が集中している一方で、駐車場スペースの問題等もあり、慢性的に駐車場が不足する状況にある。          今後、これらの問題に対処するため、平成22年度までに予定している保谷庁舎敷地整備事業にあわせ、駐車場スペースの確保を検討するとともに、有料化についても田無庁舎にあわせ早期に検討を行うことが必要である。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年度より警備員の誘導を開始し、場内の交通整理や安全管理が一定程度実現できている。一方で、保谷庁舎周辺には文化・スポーツ施設が集中しており、慢性的に駐車場が不足するという課題が生じている。今後は、平成22年度までに予定している保谷庁舎敷地整備事業の中で、駐車場スペースの確保に努めるとともに、田無庁舎駐車場の動向を踏まえ、引き続き、有料化に向けた多角的な調査研究を行われたい。</p>